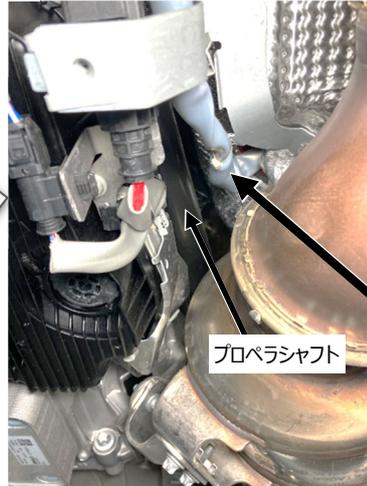


改善箇所説明図



不具合発生箇所

トランスミッションの配線

プロペラシャフト

注: は、点検し、修正する部位を示す。

トランスミッションの配線において、配線の製造指示が不適切なため、設計上必要な長さ以上の長さがあり、配線が前輪のプロペラシャフトと干渉して被覆が摩滅し、短絡や断線が発生することがある。そのため、トランスミッションに関する警告灯が点灯し、最悪の場合、走行不能に至るおそれがある。

改善の内容

全車両、トランスミッションの配線を点検し、プロペラシャフトと干渉している場合は配線を修正する。なお、配線に損傷がある場合は、修理する。

識別：車台番号の付近に黄色の識別ペイントを塗布する